

特定非営利活動法人 難民を助ける会
「タジキスタンにおける障害者のためのリハビリテーション改善事業」



写真1 国立バフダット小児リハビリテーションセンターの改修予定の建物(外観)。現在は使用されていない。外壁の塗装は、はがれ落ち、窓枠も壊れている。



写真2 上記建物の内部。内壁もはがれ落ち、一部雨漏りが発生している。また、廃材や壊れた機器などが散乱している。

特定非営利活動法人 難民を助ける会
「タジキスタンにおける障害者のためのリハビリテーション改善事業」



写真3 国立バフダット小児リハビリテーションセンターで現在使用されている車いす。座面シートは大きく緩み、老朽化している。同センターには子ども用車いすが無いため、子どもたちはこのような大人用車いすの使用を余儀なくされている。



写真4 同センター内で使用されている車いす。タジキスタンでは入手困難な部品を使用しているため、修理が難しい。